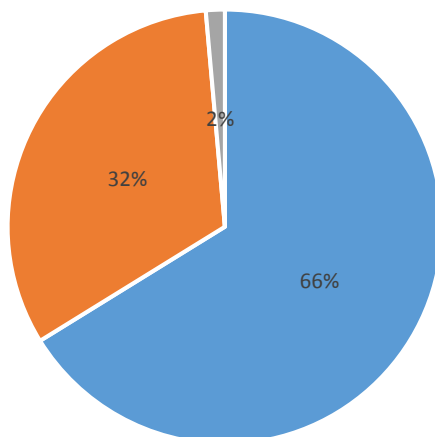


# 仕事と育児の両立のための保育所に関するアンケート結果

実施年月  
平成28年9月

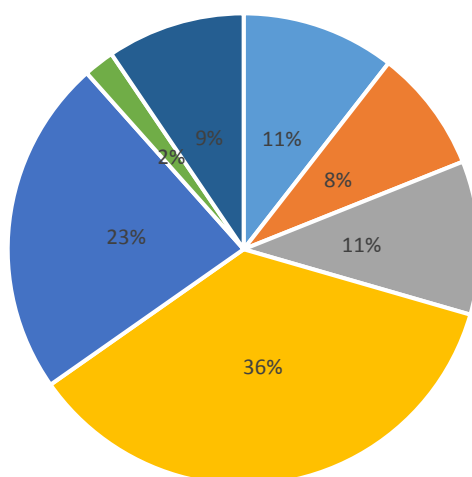
配付枚数	444 枚
回収枚数	142 枚
回収率	31.98%

## 1 仕事を続けるうえで、保育所が必要だと思いますか



- 必要
- 配偶者が専業主婦(主夫)なので必要なし
- 配偶者のほかに見てくれる人がいるので、必要なし

## 2 医大保育所を利用していますか(利用したことがありますか、利用したいですか)

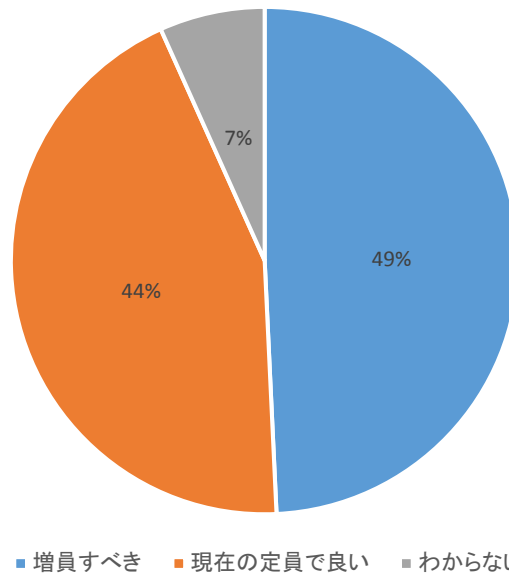


- 利用している
- 過去に利用していた
- 今後利用したい
- 利用していない
- 利用しなかった
- 今後利用しない
- 他の保育所に預けている

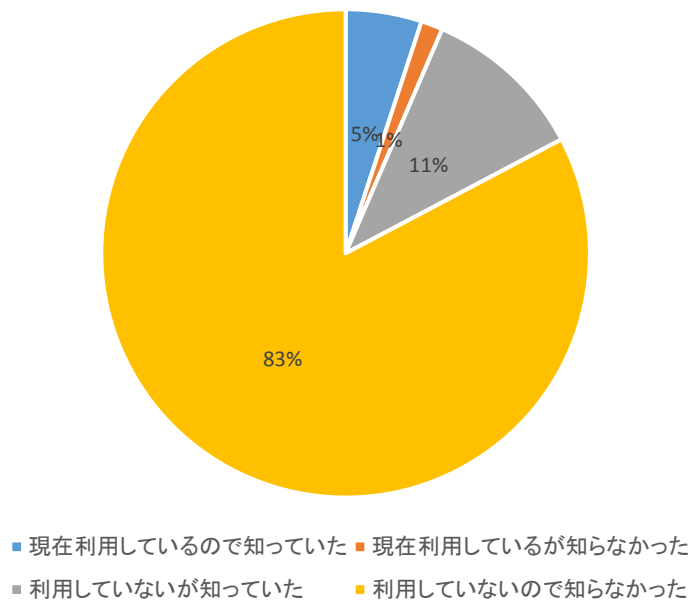
### 3 医大保育所を利用しない(利用しなかった、利用しない)理由は何ですか

- ・自宅から通いやすいから
- ・子どもがいない
- ・まだ2歳のため
- ・診療医の身分では入りづらいという噂を聞いたため
- ・満員
- ・預けられない曜日があるため
- ・大学院時代に、利用対象者ではないと言われたため
- ・立地条件
- ・定員より多い応募があり、収入の低い人から優先に入所できるので、無理だった
- ・転勤があった時、保育所をあらたに探さなければならないため、他の保育所を利用した
- ・利用する資格がないと思っていた
- ・家の近くの保育園に通わせたから
- ・乳児保育(生後2ヶ月)がなかったから
- ・子供が大きい
- ・保育内容が希望と違ったため
- ・当時は医師の利用は現実的に無理だった
- ・条件がきびしかった
- ・看護師さんを最優先させると聞いたから
- ・合格したが、認可も合格したと伝えたら、認可に行ってくださいと言われた
- ・保育料が他の保育園とほとんど変わらず、他の保育園の方が時間の融通がきく、土日の対応 可(24時間保育)などメリットが多かったため
- ・当時(16年前)は、病院に勤務している人優先ときき、大学に所属している人の利用例がなかった。延長保育(19時まで)の対応もできないときいていた
- ・申請していましたが、入所できませんでした。1歳3ヶ月の時です。復帰に向け書類も早めに提出し、「入れないということは通常ない。可否決定しだい3月上旬に連絡あり」との事で待ちましたが、3月2週目になっても連絡なく、電話をしたところ、入所できませんとの事でした。利用できる無認可をさがすまでに時間がなく、精神的に辛かったです。その後も申請をつづけましたが結局入れませんでした。3歳年上の長女は奇跡的に認可に入れました
- ・妻の仕事先で用意してくれた保育所を使用しているため
- ・妻が専業主婦だから
- ・終了する時間が合わない
- ・土日や夜に急な勤務で預けられない
- ・病院職員ではなかったため
- ・妻の親などに育児を依頼している
- ・旭川在住のため
- ・今、預けている保育園では英語・水泳・音楽など保育時間中にやってくれるから
- ・多人数でないところに預けたかった。休日も気兼ねなくあずけられるところが良かった(仕事以外の理由でも)
- ・希望したが、断られた

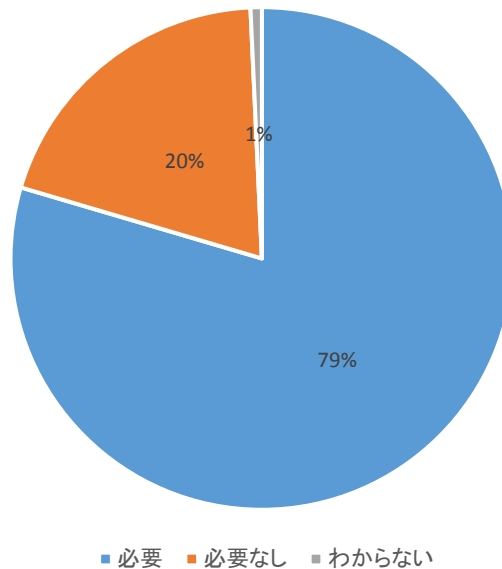
#### 4 現在の保育所の園児の定員を増員すべきだと思いますか



#### 5 医大保育所に平成27年4月から朝に登園した子が日中病気 となった場合、看護部のサポートを受けてその日の終業時間まで一時預かりをしてもらえることを知っていましたか。



6 医大保育所に病児保育(登園する前から病気でもあずかってくれること)は必要だと思いますか。

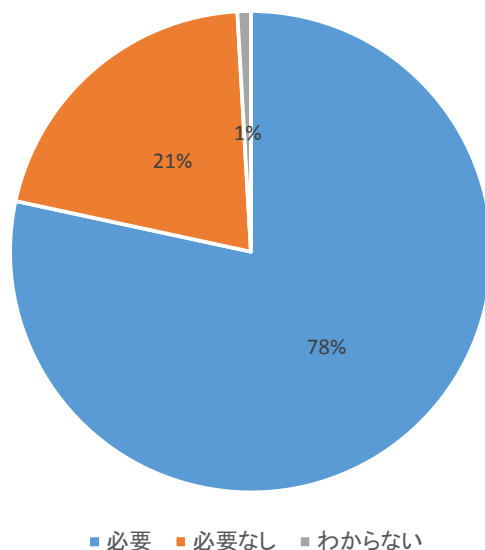


7 医大保育所に病児保育を設置した場合、希望されることは何ですか

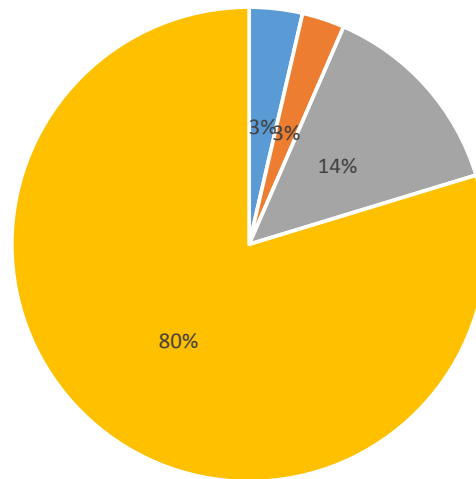
- ・連絡のしやすさ
- ・通常の病児保育
- ・状態の観察、点滴、食事等
- ・病児保育と通常保育を同一施設で行えるのか？感染症の蔓延につながらないのか？不安がある。それよりも札幌緊急ネットワークに登録してあるNPO団体を使って、病児保育を利用者の自宅で行ってもらい、その補助を半分程度大学が負担する方が、最初の投資も少なく、すぐできる策だと思われる
- ・園外の子でも病気の際預かっていただければ大変ありがたい(できれば早朝から)。女性医師の勤務の幅も増え、医師全体に利益があると思います
- ・診察なども親付き添いでなく、やってもらえると助かる
- ・急に利することが多いと思うので、利用の際にあまり煩雑な手続きがないと良いです。必要があれば院内でも受診できるようなシステムがあるとより安心でしょうが。
- ・感染を広げない工夫
- ・病児保育のためのスペースと保育担当者。スペースについては、現在登園中に具合が悪くなった場合、職員室の端や机の間に布団を敷いて寝かされているため、病児保育となるとちゃんとした隔離もできるスペースが必要だと思う。保育担当者については、しっかり病児についての知識をもって欲しい
- ・受入人数の多さ。医療職の配置
- ・処方された薬剤の投与
- ・麻疹など隔離の必要な患児のためのスペースを作って欲しい
- ・必要な投薬(内服のほか発熱時の座薬)など行って欲しい

- ・インフルエンザなどの登校禁止期間も対応してくれると助かる
- ・発症日の医大小児科での診察・診断が可能であること
- ・病後児(ex.インフルエンザで解熱した1日目)や軽度の病児であればみて欲しいと思います
- ・当日朝7時～8時の連絡で予約できるようにしてほしい
- ・定員数の検討、優先順位の決め方
- ・安全
- ・病児ベビーシッターへの補助。主に医大保育所利用者にもみ福利厚生が充実している事も不公平と思います
- ・24時間対応
- ・インフルエンザなどの流行性の感染症の病児を受け入れるのは慎重であった方が良い
- ・勤務時間帯に預かってくれれば良い
- ・設置されたら、それ以上の希望はない
- ・入院と病児保育のスムーズな移行
- ・病児保育の枠が少ないため改善をお願いしたい
- ・どのくらいの必要数があるのか予備調査が必要
- ・医大保育所に通っていないなくても預けられること
- ・人数制限をしないで欲しい。希望した場合は必ず利用できるようにしてほしい

8 病児保育について、医大保育所利用者以外でも利用できる制度(事前登録制等)が必要だと思いますか

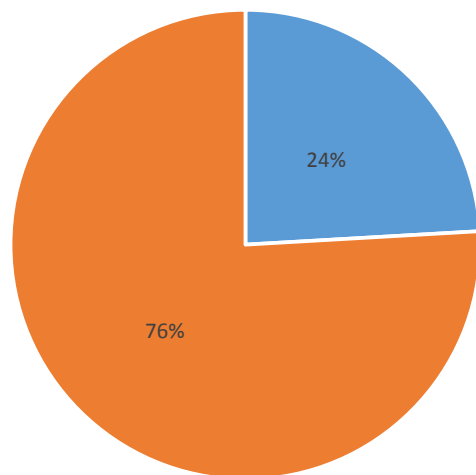


9. 医大保育所の延長保育(原則20時まで)並びに夜間保育(①16:00~0:45、②16:00~7:00、③0:00~9:00)については、現在1歳以上が対象で木曜日、金曜日のみ実施されていますが、このことを知っていましたか



- 現在利用しているのを知っていた
- 現在利用しているが知らなかった
- 利用していないが知っていた
- 利用していないので知らなかった

10 医大保育所が24時間保育(時間指定なしで預けられる)となった場合利用しますか

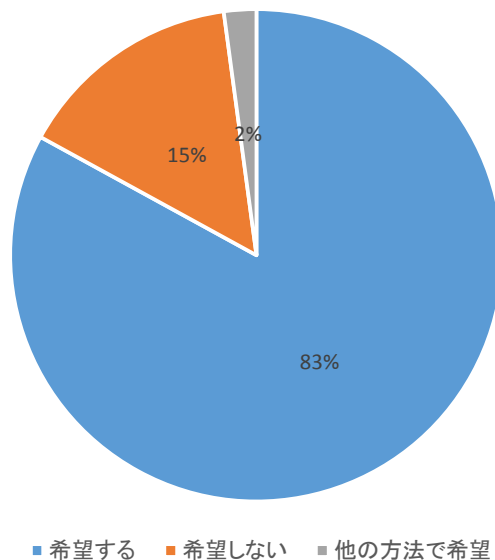


- 利用する
- 利用しない

## 11 24時間保育となった場合、希望することは何ですか

- ・生活のリズムが崩れないような対応
- ・学童の受入
- ・長時間でも子どもが活動でき、休める環境づくり
- ・通学と同様の管理
- ・早朝の送り迎え対応、食事対応
- ・日勤勤務で遅くなる場合の夕食提供が可能であること。夜勤勤務後の迎え時間の延長
- ・優先順位 ①子どもの安全 ②食事 ③睡眠 ④保清
- ・定額で夜間、休日預けられること
- ・保育の「質」の確保。以前、利用していた際、他の子どもにかみつかれて怪我をしたり、足の裏にトゲを刺して腫れていても、迎えに行った際に何の報告もなかったことがある。観察が十分できるように、保育士さんの人員を十分に確保することが必要
- ・子どもの保育状況が外部からでも確認できるweb等の環境
- ・保育士の負担軽減
- ・習い事を何か取り入れて欲しい
- ・食事施設を用意して欲しい

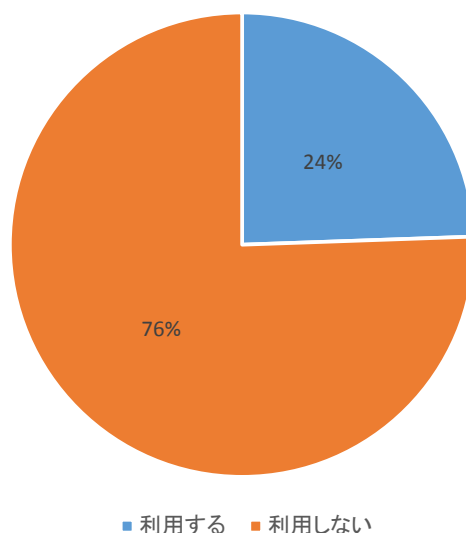
12 現在、18時以降に登園した場合は夕食の提供がされていませんが、18時以降に登園した場合の食事の提供について保育料と別料金となったとしても希望しますか



### 13 食事を提供するにあたり、希望することは何ですか

- ・アレルギーの確認
  - ・無添加で温かく美味しい食事
  - ・当日の申し込みでも食事提供可能となること
  - ・安全な食事
- 1食300円程度
- ・308円→310円
  - ・500円程度
  - ・栄養バランス

14 医大保育所の閉所日は第2, 4日曜日及びその前日の土曜日、年末年始(12月29日から1月3日)ですが、現在の閉所日についても開園した場合利用しますか

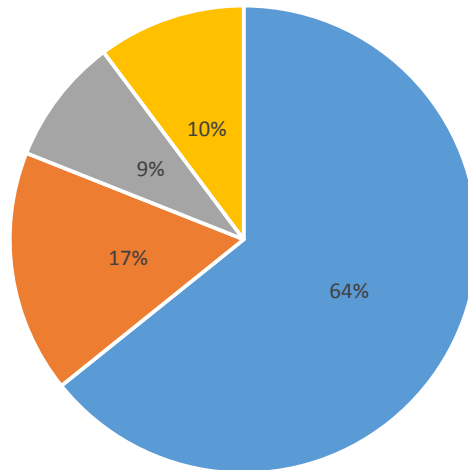


### 15 現在の閉所日について開園した場合、希望することは何ですか

- ・通常保育
- ・保育担当者がその子の担任でない場合でも、その子どもにとって重要な情報(投薬やケアなど)はしっかり共有して欲しい
- ・午前中の保育
- ・職員数の確保
- ・通学と同様の管理
- ・開園時間を短くしてもいいです
- ・多様なニーズに応えるため、休日あけるとその分スタッフが必要になる。子どもの安全のため、スタッフの質が大事になる。スタッフの人員確保とスタッフ教育にお金をかけて欲しい
- ・仕事でも預けられる
- ・保育士の負担軽減
- ・病棟回診の2~3時間だけでもみてくれると助かります



16 園児の定数増、病児保育、24時間保育、現在の閉所日の開園について、保育料が値上げされても必要だと思いますか

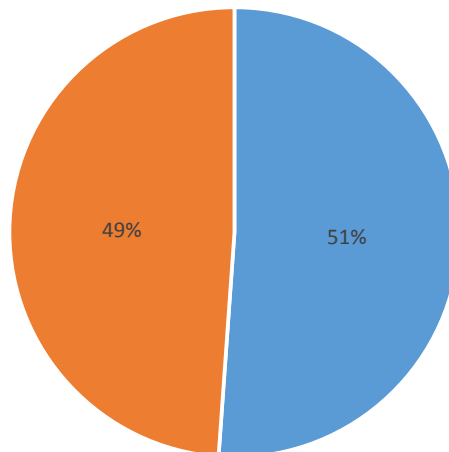


■ 必要 ■ 必要だが、一部で良い ■ 必要ない ■ その他

※一部で良いものの意見

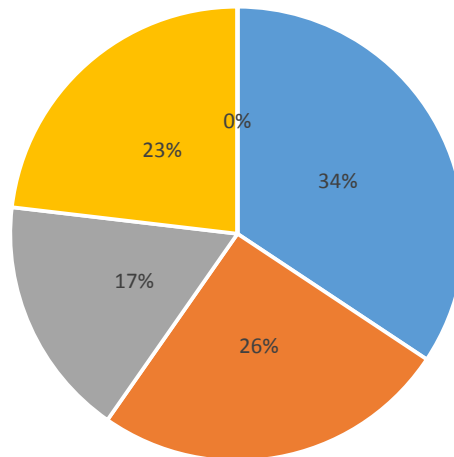
- ・園児の定数増 3人
- ・病児保育 11人
- ・閉所日の開園 3人
- ・24時間保育 3人

17 小学校低学年のお子さんを保育所に預けられるとしたら、希望しますか



■ 希望する ■ 希望しない

18 小学校低学年のお子さんを保育所に預けられるとしたら、どのような場合に希望しますか



- 子どもの学校が終わってから終業まで(学童保育)
- 子どもが病気の時(始業から終業まで)
- 子どもが病気の時(子どもが学校終わってから終業まで)
- 時間外に呼び出しやカンファレンスがある時
- その他

19 その他、保育所に関して希望すること等があれば、記入してください。

- ・投薬について、現在は1～2歳の児童については、投薬してもらえないので行って欲しいです
- ・夜間保育については現行の制度だと勤務交代制の看護師さんしか利用することができず、医師を含めた他の職種の方は利用できません。また、夜勤明けで、朝、子どもを迎えに行き、面倒を見るのは体力的に無理があり、利用者が出ないと思います
- ・延長保育については、受付、申込みを1ヶ月前ではなく、1週間前までとか3日前までとかいうよう、柔軟な対応をしてもらえるとありがたいです
- ・時間外に呼び出しされた時に預けられる場所があると助かります
- ・低所得者を優先するのでは、研修医や他の職種の医師以外が優先され、女性医師の支援はできない。低所得者は、市の認可保育でも優先されるので、そちらにも入ることが出来る可能性がある。女性医師の働く目的は収入のみではない
- ・いつでも預けられれば良いというわけではなく、保育の質と安全性を第一にしてもらいたい。利用者の都合ばかりおしつけて、保育士さんたちの負担が増え、通常保育にまで悪影響が出るのは避けてもらいたい
- ・仕事を続けていくと、職場の事情と子どもの状態の調整をすることに苦労するので、子どもの状態に対応できる幅をひろげてくれるととても助かります
- ・習い事への送迎、宿題等の指導などをお願いできるのでしたら利用したいです
- ・病児をそもそも連れてくるという発想自体が現実的ではない。むしろ補助金をだして、自宅ヘッサーを派遣できることが必要。又、24時間あずけるという発想もうけきれがたい
- ・うちの子もたちは大きくなってきたので保育所の活用はありませんが、このアンケートの内容が実現したら、助かる人がいっぱいいます。よろしく願いいたします

- ・保育士さんを増やして欲しいです。年度が変わるときに今までの保育士さんが一人もいなくなってしまつてせっかく慣れたのにすごく残念でした。担当の先生が変わるのは仕方ないと思いますが、慣れた先生が保育所内に残ってくれていたらもっと早く次の年の先生にも慣れていたと思います。
- ・一度入園したら6年間の通園を保証してほしい。Drは転勤があるため(札幌市内であっても)毎年保育園を探すのは不可能に近い
- ・小学生が病気の時に預かってくれる制度はとても良いと思う。ただし、これらのサービスでは保育士さんが大変そう。保育士の待遇の向上とセットで導入して下さい
- ・延長18-20時は必要。保育の質の充実
- ・子どもが病気の時、慣れた環境で療養できるのが一番良いと思います。そのため、医大保育所の病児保育の拡充と、医大保育所以外に預けている人の場合、自宅でベビーシッターをやってみてもらう場合の利用補助制度があるとよいと思います。親にとっては身近にある医大保育所を病児保育に利用することは便利でも、ふだん利用していない子どもの場合にとっては、なじみのない環境での療養はストレスに나と思います。それなら、慣れた自宅でベビーシッターに依頼する方が、子どもには利益と考えます
- ・制度を整えることは非常に大切です、期待しています。一方で保育の質を担保し子どもの発達を支えることを人材・環境の側面から維持・改善することも大切と考えます
- ・国会でも取り上げられるほど社会的問題となっております。今度よりよい社会にするためには保育所・保育士の確保は急務と思われます
- ・独身なので使用は今していないが、今後環境改善があればのちに利用を考えたいと思います
- ・対象や時間など、もっと拡大するべきと思います
- ・希望する人がなるべく多く利用できるようにして欲しい
- ・共働きではなくても、主婦の病気や受診で子どもを預かってくれる制度があるとありがたい
- ・大通すずらん保育園みたいなサービスを期待します
- ・入所対象者について、法人採用の臨時職員についてもある程度開放していただければいいかと思ひます
- ・平素よりお世話になっております。以前の値上げに伴い、病児保育が出来たのはありがたく思ひつていますが、枠が少ないこと、登園前の体調不良に対応していない点で利便性があまりない印象ですので、改善をお願いします
- ・現在の保育所利用者以外でも、他の幼稚園や保育園のお休みの時に、保育をしてくれるところを探している医大関係者は多いと思ひます。ぜひ、医大関係者が利用できる環境をもっと整えていただければ嬉しいです
- ・英会話や水泳教室などやって欲しい
- ・病児保育については、何となく知っていたが、具体的(手続き方法など)には知らない。子どもが熱を出すときはいつも自宅の時なので、そこから小児科を受診し、何日か休むことになる。いつも緊急さぼねつとを利用して、とても助かっているが、時間1,000円となり、高くなる。小児科受診後、例えば病児保育で預かってくれるなら、とても助かる。ただ、そのときのスタッフ(保育士、ナース)が必要になってしまう
- ・医師、特に診療医は小さい子どもを抱えている場合が多いと思ひますが、保育所は利用することが可能なのでしょうか。助教以上のスタッフでないといふ話も聞いたことがあります。もしそのままなら、是非診療医が優先して利用できるようにしないと、札幌医大として女医を確保するのが難しいと思ひます
- ・保育料に関わらず、保育内容が良さそうなら入れようと思ひます

- ・他園に預けていても、職員であれば一時預かりをしてもらえる制度があるといいです
- ・利用者側のサービスを充実することにより保育士さんの負担が大きくなるように人数確保や給与など保障していただき、保育の質は下げないで欲しいです